

各関係機関長 様

高知県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について

病虫害発生予察注意報第2号を送付します。

---

平成 30 年度病虫害発生予察注意報第2号

平成 30 年 6 月 29 日  
高知県病虫害防除所長

早期水稻のアザミウマ類(イネアザミウマ、イネクダアザミウマ)

- 1 対象作物 早期水稻
- 2 発生地域 県東部、中央部、西部、(中西部を除く)
- 3 発生時期 6月下旬以降
- 4 発生程度 多
- 5 注意報発令の根拠
  - (1) 6月中、下旬に県内の早期水稻を対象に実施したアザミウマ類(写真1)のすくい取り調査では、県東部、中央部、西部で発生面積が平年の2~3倍と多い(表1)。
  - (2) 虫数も過去3年と比べ、県東部で2.4倍、中央部で3倍、西部で7.5倍と多く、防除を要する虫数(100頭/捕虫網10回振り)を越すほ場も、調査ほ場の13%と多い(表2)。
- 6 防除対策
  - (1) アザミウマ類がイネの開花期に穎内に侵入し、玄米を食害することで黒点症状米(写真2)を生じさせるので出穂期直前の防除を実施する。
  - (2) 防除に当たっては、農薬使用基準を遵守するとともに周辺農作物等への飛散防止対策を徹底する。

表1 早期水稲のアザミウマ類の発生面積(ha) (平成30年6月)

地域	発生面積	アザミウマ類	
		本年	平年
東部		629.8	295.0
中央部		2,445.8	938.6
中西部		0.0	55.2
西部		722.5	234.8
計		3,798.1	1,523.6

栽培面積 東部 687ha 中央部 3,636ha 中西部 732ha 西部 1,445ha 合計 6,500ha

\*アザミウマ類の発生調査基準

無：10頭以下 少：11～50頭 中：51～200頭 多：201～300頭 甚：301頭以上

※10頭以下は「発生無し」と評価するため発生面積に含みません

表2 早期水稲におけるアザミウマ類のすくい取り調査結果 (捕虫網10回振り)

地域	調査地点数 (ほ場数)	平成30年度		平成29年度		平成28年度		平成27年度	
		平均虫数(頭)	要防除ほ場数	平均虫数(頭)	要防除ほ場数	平均虫数(頭)	要防除ほ場数	平均虫数(頭)	要防除ほ場数
東部	6(12)	73.3	4	56.8	3	14.3	0	21.5	0
中央部	17(34)	41.6	5	14.0	0	15.5	0	12.2	0
中西部	10(20)	1.4	0	1.9	0	7.9	0	3.0	0
西部	8(16)	52.0	2	7.1	0	2.0	0	11.6	0
県下	41(82)	37.5	11	16.1	3	11.2	0	11.1	0

\*要防除ほ場：捕虫網10回振りで100頭以上採れたほ場



写真1 イネアザミウマ成虫



写真2 被害粒 (黒点症状米)